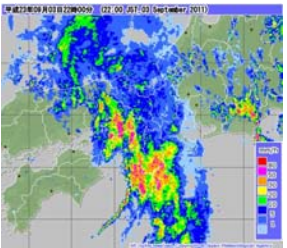


「逃げる」「凌ぐ」ための…

情報提供の取組み

【気象庁】
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
 気象庁では気象予報のほか、レーダによる降水状況などの情報を提供しています。
 (出典:気象庁ホームページより)



【国土交通省 防災情報提供センター】
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>
 <携帯サイト>
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>
【国土交通省 XバンドMPレーダ雨量情報】
<http://www.river.go.jp/xbandradar/index.html>



NHKではデジタル放送のデータ放送を利用して、河川の水位・雨量の情報を提供しています。

NHK 暮らし安全



視聴方法

- NHK放送画面の時に、リモコンの「d」ボタンを押す
- TOPメニューの「生活・防災情報」を選んで決定ボタンを押す。
- 「河川・雨量情報」を選んで決定ボタンを押す。

受信機に登録されている郵便番号を判別し、お住まいの地域の地図画面が表示されます。

【大阪府 洪水リスク表示図】
<http://www.river.pref.osaka.jp/>
 地先における河川氾濫や浸水の可能性を確認できます。



【大阪府都市整備部河川室河川防災情報】
<http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/>
 淀川左岸ブロックの雨量、河川の水位状況を確認できます。




【おおさか防災ネット】
<http://www.cds.osaka-bousai.net/pref/index.html>
 緊急情報、避難勧告・指示、地震津波情報などを提供しています。



防災情報を携帯電話で入手できます。下のQRコードを携帯電話で読み込むか、下記アドレスを入力し、空メールを送信してください。


川の防災情報

雨雲の動きや全国の川の水位などの情報を携帯電話で入手できます。
<http://i.river.go.jp/>
 直接アクセスしてください




大阪府河川情報

身近な河川の水位や雨量の情報を携帯電話で入手できます。
<http://www.cds.osaka-bousai.net/suibou/mobile/index.html>
 直接アクセスしてください



防災情報メール

地域に発令された警報・注意報、避難勧告など、防災情報をメールで携帯にお知らせします。
touroku@osaka-bousai.net



神崎川下流ブロック河川整備計画（原案）の詳しい内容について知りたい方は

- 以下のホームページに掲載しています。
 - 大阪府河川室（アドレス http://www.pref.osaka.lg.jp/s_kasen/）
- 以下の場所に資料を備えています。
 - 大阪府 府政情報センター
 - 大阪府 河川室
 - 大阪府 西大阪治水事務所
 - 西大阪治水事務所 神崎川出張所
 - 大阪市 建設局（ATCビル）
 - 大阪市 西淀川区役所 4階
 - 大阪市 淀川区役所 4階

閲覧と意見募集期間は、
12月8日(月)から
12月22日(月)まで

ご意見はこちらまで

《郵送・FAXの場合》
〒550-0006

大阪府大阪市西区江之子島2丁目1-64
大阪府 西大阪治水事務所 企画防災グループ あて
FAX 06-6541-9477

《電子メールの場合》
メールアドレス

nishiosakachisui-g05@sbox.pref.osaka.lg.jp
(大阪府西大阪治水事務所 企画防災グループ あて)

いただいたご意見を踏まえ
河川整備計画の対応方針の
検討を進めてまいります。

神崎川下流ブロック 河川整備計画（原案）

平成26年12月24日(水)
平成26年度 第7回
大阪府河川整備審議会
参考資料 2



神崎川下流ブロックについて

- 淀川等により運搬された土砂が堆積して形成されたデルタ地帯で、地盤が脆弱です。また、大阪湾の奥に位置し、大阪湾の波が集中し、高潮災害を受けやすい地域です。

- 流域市：大阪市西淀川区、淀川区

- 阪神間の重要な道路・鉄道が横断していることから、かつては、工場の町として発展してきました。現在は、交通の利便性が高いことからベッドタウンとしての役割も果たしています。
- 室戸台風・ジェーン台風・第二室戸台風により甚大な被害を受けましたが、現在は恒久的な防潮堤が整備されています。

- 水質観測結果によると、近年はおおむね水質環境基準を満足しています。
- 神崎川の河口部にわずかですが、自然の河岸が残されており、多くの野鳥が見られます。



今後の治水対策の進め方 (H22.6策定)

【基本的な理念】人命を守ることを最優先とする。

【取組み方針】

- 現状での河川はん濫・浸水の危険性に対する府民の理解を促進する。
- 「逃げる」「凌ぐ」施策を強化するとともに、「防ぐ」施策を着実に実施する。
- 府民が対策の効果を実感できる期間（概ね10年）で実現可能な対策及び実施後の河川はん濫・浸水の危険性をわかりやすく提示する。

【当面の治水目標（今後20～30年）の設定】

○時間雨量50ミリ程度*1の降雨で床下浸水が発生させない。かつ、少なくとも時間雨量65ミリ程度の降雨で床上浸水が発生させない。

【河川情報の提供】

○住民が的確に避難行動がとれるよう、河川氾濫や浸水に対する情報提供に努める。

※1 時間雨量50ミリ程度の降雨は、10年に一度発生する恐れがある降雨
 ※2 時間雨量65ミリ程度の降雨は、30年に一度発生する恐れがある降雨

将来目標（長期計画）

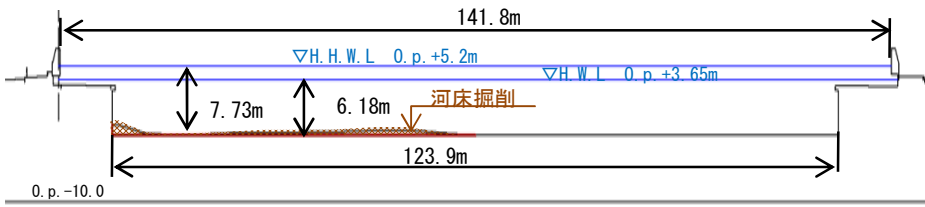
○府管理の全河川について、時間雨量80ミリ程度*3の降雨でも、川があふれて、家が流され、人がなくなるようなことをなくす。

※3 時間雨量80ミリ程度の降雨は、100年に一度発生する恐れがある降雨

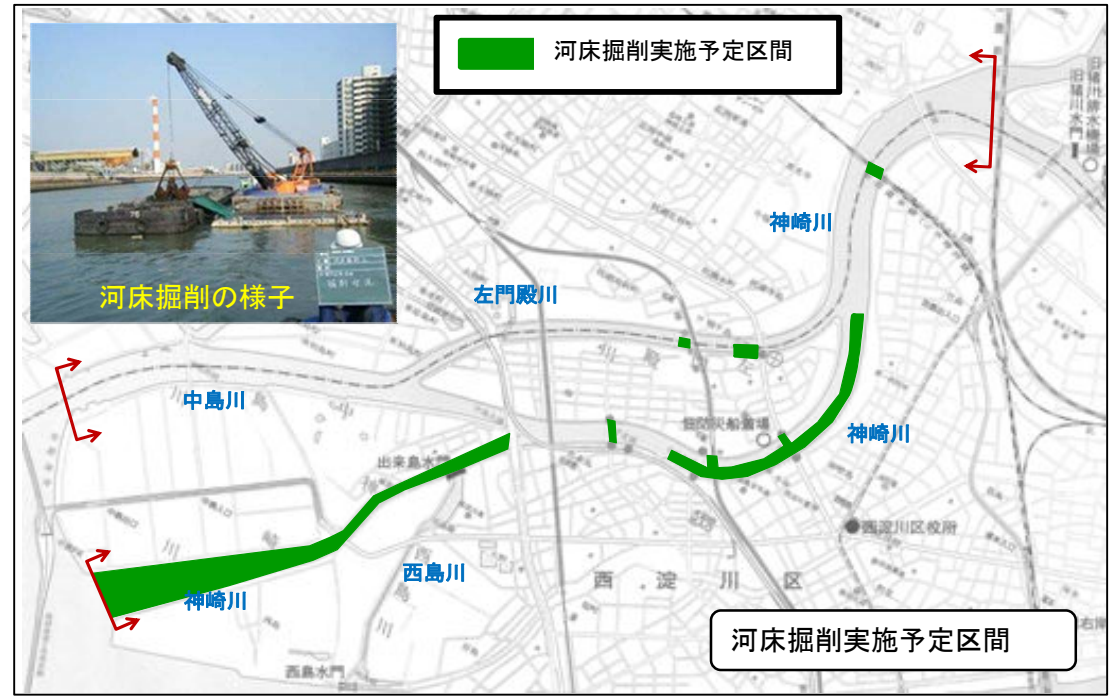
「防ぐ」ための…

河川整備（洪水対策）

- 河川の堤防は、高潮対策として整備されているので、堤防の高さは洪水の水位に対して十分な余裕があります。
- 猪名川合流点上流の水位を下げるために、河床掘削を実施します。
- 当面の治水目標として、安威川ダムの整備と河床掘削により時間雨量65ミリ程度の降雨を安全に流下させることとします。
- 掘削においては、生態系保全上配慮すべき事項についてあらかじめ確認し、確認された場合は、生態系の保全に配慮して河道掘削を実施します。



河口から5.0km地点（左門殿川分派後）横断面図



河川整備（高潮対策）

伊勢湾台風規模の超大型台風が大阪湾奥部に最悪のコース(室戸台風のコース)を通って満潮時に来襲したことを想定した恒久的な防潮施設(計画高さO.P.+8.10m~O.P.+6.80m)が整備されており、引き続き現状を維持します。

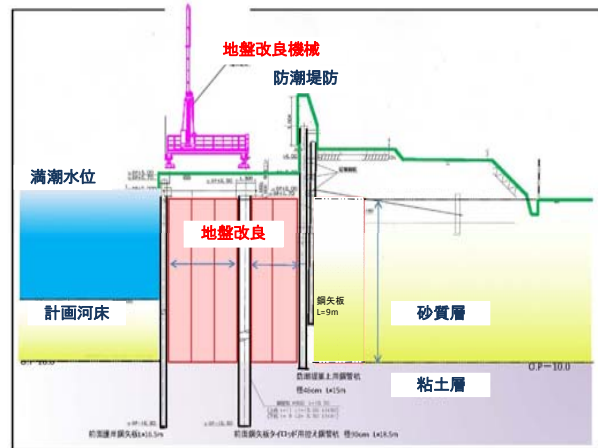
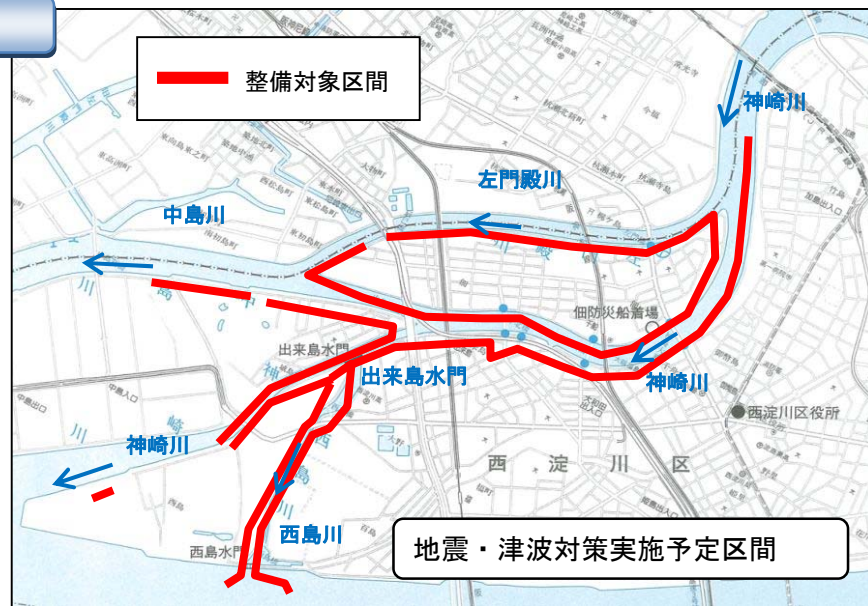
河川整備（耐震・津波対策）

○地震対策

- 構造物の供用期間中に発生する確率が高い地震動に対しては、堤防、水門等の全ての施設が健全性を損なわないことを目標とします。
- 内陸直下型及び海溝型の地震動に対して、堤防は、早期に修復可能な損傷に留め、期望平均満潮位、または津波高さを確保することを目標とします。水門等については、地震により被災すると復旧に時間を要するため、地震後においても水門の開閉機能を保持することを目標とします。

○津波対策

- 百年から百数十年に一度の頻度で発生する東南海・南海地震による津波については、施設の補強等により、津波を防ぐことを目標とします。
- 千年に一度、もしくはそれ以上の間隔の頻度で発生する南海トラフ巨大地震については、施設の流失等による二次被害の発生を防ぐことを目標とします。また、すべての鉄扉の電動化、遠隔化などを実施していきます。



防潮堤防の耐震補強の標準断面図

河川の維持管理

- 堤防や防潮鉄扉・水門などの河川管理施設の定期点検や緊急点検の実施
- 河川管理施設の被災時には応急対策を実施し、出水後に速やかな機能回復を実施
- 河道は、必要に応じて、浚渫を実施
- 許可工作物(橋梁等)などについても河川管理施設と同等の点検・補修を行わせるなどの指導
- 災害時の避難経路として、管理用通路の機能を維持
- 防災船着場については防災機能を最大限に発揮させるため、広域避難所(佃、出来島、中島)とのネットワーク化
- 関係機関と連携し、水量・水質を維持
- 矢倉海岸をはじめ、動植物の生息状況等については、今後も河川環境のモニタリングを継続。
- 「なにわ自転車道」、「西島川自転車歩行者道」については、秩序ある利用の促進に向けた、施設管理者及び占有者に対する適切な指導

地域や関係機関との連携

- 兵庫県と連携した維持管理・水防活動（兵庫県）
- 大阪市関係部局と連携した避難活動支援（大阪市）
- 河川愛護活動への支援（市民、NPO）
- 河川環境の保全・再生・美化活動など、市民やNPO団体と連携した維持管理の実施
- アドプト・リバー・プログラムの推進、協働で定期的な河川美化活動等の実施
- 津波・高潮ステーション等による防災に関する啓蒙活動

